

放射線画像診断、世界一

松波総合病院の竹田医師

北米学会コンペ、8度目挑戦



画像診断コンペティションで世界一となった竹田太郎医師＝羽島郡笠松町田代、松波総合病院

松波総合病院(羽島郡笠松町田代)放射線診断科の竹田太郎医師(48)が、画像診断の正確性を競う北米放射線学会のコンペティションで、世界一に輝いた。放射線科医はレントゲンやCT画像を見て、症例を

読み解く専門医。コンペティションは学会の月刊誌に掲載される問題の年間正答率を競う。2025年で8度目の挑戦となった竹田医師は最多正解者となった。

普段の診療で、コンペティションの問題と全く同じ症例に出合うことは無くても「画像を見て、パッと答えを導く瞬発力が身に付いた」と話す。普段から世界中の放射線科医とオンラインで勉強会をするという、「間違いを恐れずに自分の考えを口にし、議論できるようにになった。引き続き精進したい」と語った。

(安井真由子)